

【部会・分科会活動報告】 2017年1,2月度

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) <u>芽胞菌研究分科会</u> 論文を作成中。</p> <p>(2) <u>MALDI-TOF MS 研究分科会</u> NITE との MOU を締結。第一回会議を 3/6 に実施予定。</p> <p>(3) <u>チルド勉強会</u> 2/9 に勉強会を実施</p> <p>(4) <u>飲料等の開栓品に対する微生物クレーム低減活動</u> ワーキングチームでの活動を 2/27、3/7 に実施予定。</p> <p>2. 部会全体会議 日時：2017年1月31日(金) 13:30-14:00 場所：キューピー(株)／東京、参加者：50名 ・各分科会からの活動報告 ・その他、審議および報告</p> <p>3. 勉強会 日時：2017年1月31日(金) 14:30-17:30 場所：キューピー(東京)、参加者：57名 ・勉強会テーマ(1)：NITE/NBRC における事業と共同研究 講師：NITE 川崎先生、木村先生 ・勉強会テーマ(2)：ノロウイルスに関する最新の研究 講師：北里大学教授 片山先生</p> <p>4. 次回、部会全体会議・勉強会の予定 日時：2017年5月19日(金) 13:00-18:00 場所：花王(株)すみだ事業場／東京 ・部会：各分科会からの活動報告、他 ・勉強会テーマ：HACCP 制度化と食品業界の対応 講師：食品産業センター技術環境部次長 宮本様、他</p>
	食品リスク研究部会	<p>1. 部会および勉強会調整 日時：2017年3月30日 13:30-17:00 場所：ILSI 事務局 勉強会：国立衛研・梅村先生による「JECFA 評価にみる食品安全の国際評価動向」を予定。</p> <p>2. 部会に先立ち、今後の活動についてのアンケートを実施。役員交代を踏まえた今後の体制案を検討中。</p>
	香料研究部会	
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 研 究 会	研究会全体	<p>全体会議を2月15日に開催</p> <p>1. ERA プロジェクト調査報告第31号勉強会 (ア) ERA プロジェクト調査報告第30号 (JAN2017) 1月発刊予定 (イ) ERA プロジェクト調査報告第31号 (MAR2017) 3月発刊予定</p> <p>2. ERA ワークショップ・勉強会のフォローアップ (ア) 後藤氏より、雑草性に関する論文作成の進捗について報告が行われた。論文の内容については大澤先生、黒川先生に相談しながら進めており、黒川先生からは論文の概要について了承を得た。今後は農林水産省に進捗を報告し、6月に育種学研究に日本語で投稿することを目指している。 (イ) 山根氏より、ILSI-CERA (Andrew Robert) に対し、論文を作成中であること及び原稿レビューのお願いをすることが合意された。また、IFBC への確認が必要となるか、併せて Andrew 氏</p>

バイオテクノロジー研究会		<p>に確認することとした。</p> <p>3. ゲノム編集ワークショップの開催 (ア) 高橋氏より、準備状況の報告が行われた。開催日は7月10日、目的はゲノム編集に期待が高まっていることを国民に知らせることと、国民への情報提供活動の成果、海外の規制状況の説明とし、関係団体と共催で行う。</p> <p>4. GM 食品添加物の今後について： (ア) 加村氏より、添付スライドに基づき状況の報告が行われた。高度精製添加物の自主判断基準について、1月17日に発表されたFSCからの文書中の「確認済み非有効成分」が何を指すものなのか、今後MHLWに確認する予定。 (イ) 高度精製食品については、高度精製添加物の自主判断基準の問題が解決後に取り組む予定であることが報告された。</p> <p>5. ILSI HESI のアレルゲンデータベース COMPARE の紹介が笠井氏から行われた。ILSI HESI よりコミュニケーション用資料が送られてきたら、次回の研究会でその扱いについて検討することとした</p> <p>6. Biosafety に関する報告 (ア) 笠井氏より、昨年12月にメキシコで行われた COP/MOP 13 会議の報告が行われ、懸案となっていた Risk assessment document は、内容には問題はあるものの全く強制力を持たない”take note of” という位置付けになったこと、synthetic biology の議論が利益配分及びリスク評価の観点から今後も長く続くと思われる事などが紹介された。</p> <p>7. 会計報告 (ア) 加村氏より会計報告が行われた。</p> <p>8. 研究会人事異動 (ア) 末木さんの訃報について：今後、偲ぶ会があった場合にはメンバーに報告することとなった。 (イ) 池畑さんの退職について：感謝の意を表すため、昼食会を行うこととした。 (ウ) 4月からモンサントの ILSI 代表は山根氏から中井氏に交代。 (エ) それに伴い、4月からの幹事会メンバーの変更が承認された：研究会会長 笠井氏；副会長 加村氏、高橋氏、中井氏</p>
栄養健康研究会	栄養研究部会	<p>2017年度 第1回目の会議開催（1月25日）</p> <p>1. 部会の活動方針について意見交換 <ul style="list-style-type: none"> 第9回ライフサイエンスシンポジウムの2018年開催を目標に今後活動していくこととした。（理由：上記シンポジウムの第8回は2014年に開催されたが、その後開催されていないため） </p> <p>2. 第9回ライフサイエンスシンポジウムに向けて <ul style="list-style-type: none"> 題目、テーマ等については、「案」を提案することとし、後日部会長が取り纏めることとした（2月）。 「案」の取り纏めが終了したら、次回の部会で検討することとした。（なお、2019年に開催が予定されている第8回「栄養とエイジング」国際会議も視野に入れるようにする。） </p> <p>3. 勉強会開催に向けて <ul style="list-style-type: none"> テーマ選定のため、各自、学会等でアンテナを張り、情報収集に努めることとした。 </p>
	GRプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 第3回多施設試験を10施設で実施（8月～）
	茶類研究部会・茶情報分科会	<p>1月24日会議開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集を進める。 茶成分データの共有に、会員サイトのDB機能の利用確認

		<ul style="list-style-type: none"> • Eur.J.Clin.Nut. に発表した論文のを、各社で手分けして日本語化し、「イルシー」誌に投稿する。役割分担決定。 • EFSA 安全性指針への情報提供について：情報のベースとなる論文のリストの確認およびレビュー内容の確認に関してスケジュール案を相談
食品機能性研究会		
	寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」	<ul style="list-style-type: none"> • 第Ⅲ期寄付講座（2013年12月開始、5年間）研究進行中。
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>1/10, 17, 24, 31 いきいきランチ教室 (八広地域プラザ, 墨田区)</p> <p>1/25 テイクテンサポーター講習会 ((株)味の素 関東支店, さいたま市中央区)</p> <p>1/31 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (石巻専修大学)</p> <p>2/6 世田谷区主催介護予防教室 (世田谷区上祖師谷グループホームかたらい)</p> <p>2/7, 14, 21, 28 いきいきランチ教室 (八広地域プラザ, 墨田区)</p> <p>2/9 「ウィズ・エイジングゴルフプロジェクト 第二回健康講座」 (高萩公民館, 埼玉県日高市)</p> <p>2/10.28 「テイクテンサポーター講習会」 (ILSI 事務所)</p>
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	<p>2/17 「ベトナム農村地域における母親の離乳食作り啓発支援事業 (以下 AIN)」 AIN による活動視察 (CHP スタッフ, バクザン省保健局職員 5 名, NIN(ベトナム国立栄養研究所) 職員 3 名, バクザン省, ベトナム)</p> <p>1-2 月 AIN: 栄養カウンセリングや栄養・食品衛生に関する情報提供を継続的に実施 (ターイグエン省・バクザン省, ベトナム)</p> <p>1-2 月 SWAN3: 安全な水・栄養・食品衛生教育及び情報提供を継続的に実施 (ハナム省・ナムディン省, ベトナム)</p>
	Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	特になし
	CHP 全体	
国際協力委員会		特になし
情報委員会		<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (1, 2 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> • 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> • 25 巻 2 号 (通巻 95 号) : 2/10 発刊 • 25 巻 3 号 (通巻 96 号) : 監修、編集 (5/10 刊行予定) • 2/21 編集委員会開催 (通巻 97 号採択論文、翻訳者候補決定)
編集部会		<ul style="list-style-type: none"> • 「イルシー」誌 129 号、発行 (2 月) • 「イルシー」誌 130 号、原稿査読・編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>第1回理事会が平成29年2月7日(水)15時より開催された。</p> <p>決議事項(総会議案)</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成28年度活動報告書案 報告の手順として、「本部との関係」「トピックス」「各研究部会活動」「CHPの活動内容」とし、内容として「組織図」を入れるなど初めて出席する会員にも分かり易くすべしとの意見に従い、修正することにした。 平成28年決算報告書案 繰越額について議論があり、今の額が決して多くはないとの意見が出た。また税金の支払いについて質問が出た。ILSI Japanの会計が3つの会計単位から構成されていることの説明が不十分の指摘があり、修正することにした。 平成29年度活動計画書案 CHPの活動体制整備の具体論を書き加えることとなった。新寄付講座の内容について、質問や意見が出たがさらに議論を重ねることが必要とのことで議論終了。 平成29年度収支予算書案 CHPの資金不足に質問が出て、新たなドナーの確保のことや本部移管検討の状況について、担当理事に対して確認があった。 <p>報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 支部総会報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 本部総会報告 発表内容を事務局長が説明、特に意見はなし。 定款変更 前総会にて役員任期の変更決議をし、都庁に申請したが、違法となるケースがあるため不認証となった。 健康な食事研究会 シンポジウムに、食品産業記者会の記者が参加できないことがわかり、記者説明会を設定することにした。 発展形寄付講座 質疑なし。 その他 サントリーOBの太田氏が、浜野氏後任として3/1から事務局次長として勤務開始。
総会	<p>平成29年通常総会が平成29年2月22日(水)10:00より神田カンファレンスで開催された。</p> <p>審議事項</p> <p>第1号議案 平成28年度事業活動報告書案が承認されました。 第2号議案 平成28年度決算報告書案が承認されました。 第3号議案 平成29年度事業活動計画書案が承認されました。 第4号議案 平成29年度収支予算書案が承認されました。</p> <p>繰越金を研究会活動に配分すべきとの提案があり、理事会で今後検討することとした。</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 本部総会報告 2017年のILSI本部総会の概要を報告。 One ILSI戦略を強化すべく食品安全、栄養の2分野に絞り、支部間協働テーマを創設すべく議論が重ねられた。詳しくはイルシ

	<p>一誌 No.130 及び ILSI ウェブサイト参照。</p> <p>2. 定款変更について</p> <p>2016 年の支部総会にて、役員任期を総会までにするという定款変更を決議したが、違法となるケースがあるので「不認証」との連絡を受け、変更を中止したことを説明した。</p>
事務局	特になし